

保全用 フルハーネス

作業者の命を
墜落・転落災害から
守ります

■ 保全用フルハーネスとは

2019年2月1日付で安全帯の規制に関する政省令・告示が改正され、「安全帯」の名称が「墜落制止用器具」に変更となり、高さ6.75m（建設業では5m）を超える箇所ではフルハーネス型の使用が原則となりました。

保全用フルハーネスは、新規格に適合した仕様で、身体の主要部分を支持する構造のため、万一墜落した際の衝撃が身体の太腿・肩・腰など複数の箇所に分散されます。保全用フルハーネスは、従来のフルハーネスと比べ、墜落時に与える衝撃が少ないため、身体にかかる負担を軽減します。



保全用フルハーネスの特長



チェスト部の構造は 両引きタイプ

チェスト部の構造は首周りの快適さを向上させるために両引きタイプを採用しています。



墜落時の衝撃軽減

墜落時にかかる身体への負担を軽減するために、ベルトの形状は肩から腿までの主要部分を支持する構造になっています。



軽量でコンパクトな ランヤードを採用

軽量でコンパクトな伸縮タイプのランヤードを採用しました。また、オートロック式のアルミフック、高耐久性のスチールフックを備えたツインランヤードを採用し作業中も安心してお使いいただけます。

製品詳細



FRONT



BACK



point 1

左右に配置したD環が フック着脱時の無胴網状態を防止

フックの掛け替え作業が多い現場でも安心して作業に取り組めるように、左右にD環を配置して、無胴網状態（ランヤードが構造物に掛かっていない状態）が生じないように設計になっています。



point 2

安全性を高めるため 接続部にはオーバルオートロックを採用

セパレートタイプのハーネスのため、接続部は強固である必要があります。そのため、保全用フルハーネスでは、チェストハーネスとシットハーネスをつなぐD環に、開閉後に自動でロックをかけてくれる、オーバルオートロックを採用しました。



point 3

複数箇所にパッドを配置し 墜落時の衝撃を軽減

墜落時の身体にかかる衝撃を軽減するために、肩から背中、腰、腿、まで複数箇所にパッドを配置しております。これにより墜落時にかかる荷重を分散することができます。



point 4

軽量化・作業性向上のために ランヤード・ツインランヤードを採用

作業中の動きの邪魔にならないように伸縮性の高いランヤード2種類を採用しました。また、ジャバラ式ランヤードにより小型化、軽量化をしました。

お問合せ



03-5339-1717

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト9F
FAX: 03-5339-1719 MAIL: info@c-nexco-het.jp

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京

検索

<https://www.c-nexco-het.jp/>



製作会社

株式会社TOWA 〒130-0021 東京都墨田区緑1-4-10 TEL:03-5600-9520 FAX:03-5600-9521 URL:<http://www.towapro.jp>